

ぼくは、この「森を守ろう」という題を見て、どのようにして森を守るのかなあと思いました。この本は、人げんたちが、木が高くつれるから森の木を全部切るといふことから物語ははじまります。

ぼくは、木を切ってしまったら、動物たちが住む所がなくなってしまうだろうと思いました。

この本にでてくる動物たちは、木を切らないように作せんを立てました。

それは、村と森がつながっている橋をこわそう作せんやちくちく作せん、ケムイケムイ作せんなどです。



☆小学校中学年の部
「森を守ろう」を読んで
 鳥茂渡小三年 沢口 卓弥

に入れるかというところ、おべん当がないとおながへる。おながへると自分の家に帰る。家に帰ると、森の木が切れないという作せんです。ぼくは、動物たちは、人げんたちのことをよくしっていて、作



金子 美希ちゃん
 (黒崎・4歳)



山田 彩華ちゃん
 (上区・5歳)



昌山 彩愛さん
 (盛岡市・9歳)



太田 成美さん
 (太田名部・9歳)



下坪 夏南さん
 (黒崎・7歳)

どういう作せんかというところ、森の木を切りにきた男たちのおべん当をもぐらがほつたあなに入れる作せんです。なぜおべん当をあな

せんを立てるのがうまいなあ」と思いました。

その作せんでは、ほとんど、人げんたちはいたためにあいました。でも、ひつじつかいのシュトツツエルさんだけは、いたためにあいませんでした。なぜかというところ、シュトツツエルさんだけが森の木を全部切るのに反対したからです。なぜ反対したかというところ、森があるおかげでけしきは美しいし、こ

う水もおきないからです。

ぼくは、「ひつじつかいのシュトツツエルさんは、みんなのために言っているのに、ほかの男たちはだめだなあ。でも、ひつじつかいのシュトツツエルさんは、いい人

だなあ」と思いました。動物の心がわかり、動物にも、人げんにも森は、とても大せつだと言いつづけたシュトツツエルさん。

ぼくは、こんな考えの人が、たくさんいたら、みんな安心してあわせなだらうなと思いました。

ぼくのすんでいる所も、たくさん美しいしぜんがあります。たくさんのお木があります。リスなどのかわいい動物もいっぱいいます。ぼくも、シュトツツエルさんのようにいつまでも自分のまわりにある森を大切にしていきたいと思いました。

「原文のまま」(卓弥くんは現在四年生に進級しています)

で、ビリになった。C 百リレーで走りきれなかった。

「八カバカスクナイ」さてどのように解釈しますか。

A 調子がいまひとつよくない。
 B 昨日から体調を崩している。
 C 風邪を引き体調不良が長引いている。

【応募の方法】

❤️はがきに答えの記号と、住所氏名、年齢、世帯主の名前、電話番号を書いて応募ください。正解者の中から抽選で七人に図書券をプレゼントします。匿名での応募は対象外です。

はがきの余白に意見、情報、イラストなどカラーで自由に書いて、

❤️当選者…熊谷久利実さん(釜石市・9歳) 片座佳祐くん(黒崎・9歳) 下坪夏南さん(同・7歳) 太田成美さん(太田名部・9歳) 関口桐子さん(旭日区・10歳) 道上久留美さん(力持・12歳) 山崎優友さん(芦渡・10歳)

❤️ ください。

❤️ 熊谷久利実さん(釜石市・9歳) 片座佳祐くん(黒崎・9歳) 下坪夏南さん(同・7歳) 太田成美さん(太田名部・9歳) 関口桐子さん(旭日区・10歳) 道上久留美さん(力持・12歳) 山崎優友さん(芦渡・10歳)

❤️ あて先: 〒028 8392 普代村9 13 2 普代村役場 総務課広報クイズ係

❤️ 締め切り: 十二月一日(土)

❤️ 十月号の答え: A A

❤️ 応募総数: 十七通で十六人の方が正解でした。抽選の結果、次の七人に図書券を送ります。おめでとございます。